



かわみなみ 議会だより



2020.05.17 14:08

東地区自治公民館の『マスクづくり講習会』から

もくじ

- 2 一般会計予算
- 4 新型コロナ対策事業
- 5 聞いてみました
- 6 賛否表
- 7~13 一般質問
- 14-15 議会報告会での意見・提言
- 16 意見箱より・編集後記

No.129
令和2年(2020年)
8月1日発行

一般会計予算

歳入・歳出2億317万円を追加

総額119億6959万9千円に

生ごみの日曜日受け入れスタート

坂の上不燃物中継施設では、令和2年4月より日曜日に生ごみを持ち込む事ができるようになった。このため、生ごみ以外の可燃ごみと混在しないように現在の倉庫の北側にプレハブ物置を設置する。面積は3.44坪、予算は63万2千円。



プレハブ物置設置予定地

小型ポンプ対応の積載車を購入

財産取得が提案され、第4部(塩付方面)、第8部(毘沙門方面)に積載車を購入し配置するもの。総額は2台で1188万円となる。



導入予定の同型車

新型コロナ関係の予算・条例 応援消費プレミアム付(30%)商品券

商工会に300万円で事務委託し、県3分の2(1400万円)、町3分の1(700万円)を補助して、プレミアム商品券を販売する。チラシを配布し、添付しているはがきを出すことで、抽選により額面13,000円分を10,000円で購入できる。7,000冊を予定している。



コロナウイルス感染症で傷病手当金 国保加入者対象、賃金の3分の2を保障

今回、国民健康保険条例の改正と国民健康保険事業特別会計補正予算ではコロナウイルス感染症に感染した場合、または発熱等の症状があり感染が疑われる場合の休業保障として傷病手当金を出すもので、おおよそ対象者の賃金に対して3分の2を国保会計から支出する予算である。補正予算総額は1632万2千円となっている。

経営持続支援事業支援金

国の持続化給付金(50%以上の売り上げ減少の事業主)の対象とならない商工業を支援するもので、売り上げが前年同月比30%~50%減の商工業者が対象となり、飲食業を除く商工会会員事業所400事業所に対し一律15万円の支援金を交付する。

【委員会での意見】

提案理由では売上の減少が30%~50%となっているが、実際は30%減少以下の事業所でも痛手であり、支給には考慮すべきであった。

GIGAスクール 小中学校、一人1台パソコン導入

国のGIGAスクール構想*により児童生徒一人1台を導入。

- ①パソコン本体(1台45,000円)は国がメーカーに直接支払う。
- ②予算計上のパソコン賃借料は1台28,000円(保守、保証、有償のソフトウェア代金)を5年間でリース。令和2年度は10月~3月までの半年分。
- ③児童生徒数は、令和元年5月1日基準日時点1,345名で今回その3分の2が補助対象であるため、パソコン896台を導入する。現在導入されている218台を含め上級学年から一人1台になり、低学年については次年度以降予算を計上する予定。
- ④校内LAN整備業務委託料は小中学校合わせて69学級にLAN配線・アクセスポイント・電源キャビネット設置に係る費用。



*GIGAスクール構想とは

Society5.0時代に生きる子供たちにとって、PC端末は鉛筆やノートと並ぶ欠かせないものになっていく。仕事でも家庭でも、社会のあらゆる場所でICTの活用が日常のものとなって、社会を生き抜く力を育み、子供たちの可能性を広げる場所である学校で全国一律のICT環境を整備する構想。

小学校

総額	5322万1千円			
歳入	国	町債	繰入金	一般財源
	2212万2千円	1990万円	800万円	319万9千円
歳出	校内LAN整備委託料	パソコン賃借料		
	5142万9千円	179万2千円		

中学校

総額	2728万9千円			
歳入	国	町債	繰入金	一般財源
	884万8千円	790万円	800万円	254万1千円
歳出	校内LAN整備委託料	パソコン賃借料		
	2657万2千円	71万7千円		

【6月定例会の議案質疑より】

Q

教育費のパソコン指導者の確保は、役場の職員の中にも堪能な職員がいるのでは。

A

詳しい職員はいるが、導入に関わった専門業者にサポートをお願いし、それぞれの授業に有意義に使われるよう体制を整備していきたい。

【委員会での意見】

GIGAスクール構想によりパソコンが一人1台になる事で有効活用するように強く申し入れた。

新型コロナ対策事業

国からの交付金は

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金として1億2409万1千円が交付された。それらを原資として支援していく。

5月の臨時会

【専決処分】

頑張れ!未来の川南を創る学生応援事業

18~25歳の大学院、大学、短大、専門学校に通い、移動制限に伴い帰省を自粛している学生を応援するもの。川南町の特産品を申請により送付。総額は190万4千円で特産品118万3千円で1個3,240円を365人分で計上。送料は72万1千円となっている。(移動制限解除に伴い終了した。)

学校給食6か月無償

臨時休業に伴う小中学校の学校給食対応措置児童生徒の給食費6か月分(4~9月)を無償化。3457万2千円。



学生応援事業

【臨時会議案】

老人福祉施設応援

マスク3万枚、消毒用エタノール460本、消毒次亜塩素酸水・原液460箱、使い捨て手袋460箱 754万7千円

マスク支援

障害福祉施設及び保育所・幼稚園に対し、それぞれマスク1万枚 132万円

子育て世帯を支援

小中学校の臨時休業により影響を受けた児童手当受給世帯に一時金として児童1人当たり1万円を支給。新高校1年生を含む平成16年4月2日から令和2年3月31日までに生まれた子供が対象。給付金は2200万円。

川南町の特産品を送ろう支援!

町内の特産品販売店で特産品を購入し、宮崎県外へ送付する場合の送料を全額支援。予算に達したら終了する。

利子補給支援

国の全額利子補給対象とならない事業者分の緊急対策貸付金利子補給事業補助金 449万8千円

町内事業者を支援

飲食店70軒に追加支援として一律10万円。さらにタクシー業、代行運転業、スポーツジムに対し一律30万円を支援する。総額は910万円となっている。

聞いてみました

畑かん事業について

Q どのような形で運営するのか、また負担割合は。

A 高鍋町、都農町、川南町が実施主体で、事務的には高鍋町、都農町と川南町が規約を結び、川南町で事務を行う。管理については、尾鈴土地改良区と小丸川土地改良区で組織する尾鈴土地改良区連合が行う。
負担割合は、受益面積割で、川南町が85%、高鍋町が12%、都農町が3%



青鹿ダムと共に事業を担う切原ダム

Q 恒久的な補助を受けることによるの予想されるデメリットは。

A 現在、実施している維持管理費の流れと比較すると恒久的な補助が入ることにより、大きなメリットがあり、今のところデメリットは考えられない。

財政について

Q 今回の補正予算は、新型コロナウイルス対策支援が主で、財源は国、県の補助と併せて基金繰入のようである。総合福祉センター等大型事業を控えているが基金等の自主財源確保はどのように考えているのか。

A 地方創生臨時交付金を財源とし、足りない分について基金繰入を行っている。今後も継続的な国の交付金等の財源を活用していきたい。

地域コミュニティについて



コミュニティカフェの様子

Q 自治活動振興費の一般コミュニティ助成事業について、松原地区に音響設備等の導入をするとのことだが、事業を受け入れる経緯について、他の地区へも希望を募ってやることはできなかったのか。地区公民館等のトイレの改修等の事業にも導入できないものなのか。

A 一般財団法人自治総合センターへ申請を上げ、決定となったもので、松原協会は以前より、コミュニティカフェを週2回火曜日、金曜日開設をし、また認知症カフェ等地域コミュニティ関係事業に取り組んでおり、この事業について松原地区から申請が上がってきて、町のモデル的な地区と判断し、自治総合センターへ上申したものである。公民館のトイレ建設についてはこの事業では無理である。他地区の要望等については、宝くじ助成事業の趣旨に沿っていけば、挙げていきたいが、決定件数が限られている。

Q 今回繰入れする基金の残高は。

A 財政調整基金は、今回計上分を入れて残高5億372万6千円、ふるさと振興基金は残高7億9858万6千円である。

Q 地方債補正について、現在の金利は。

A 地方債の利率限度額は4%以内 見直し方式ということで現在の金利は、学校教育施設整備事業債については、令和2年4月現在で0.2%である。

令和2年5月臨時会・6月定例会議案 賛否表

(○は賛成、●は反対、議は議長)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		河野	谷村	中津	養原	徳弘	児玉	竹本	米田	内藤	川上	中村	福岡	河野
		禎明	裕二	克司	敏朗	弘美津子	助壽	修	正直	逸子	昇	昭人	仲次	浩一
令和2年6月定例会議案	結果													
賛否が分かれた議案(定例会)														
令和3年度新規採択町営基幹水利施設管理事業について	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	議
全員が賛成した議案(令和2年5月臨時会)														
専決処分の承認を求めるについて(川南町税条例等の一部改正)	専決処分の承認を求めるについて(川南町国民健康保険税条例の一部改正)	専決処分の承認を求めるについて(令和2年度川南町一般会計補正予算(第2号))												
令和2年度川南町一般会計補正予算(第3号)														
全員が賛成した議案(令和2年6月定例会)														
令和元年度川南町一般会計繰越明許費繰越計算書について	令和元年度川南町一般会計事故繰越し繰越計算書について	令和元年度川南町水道事業会計予算繰越計算書について												
川南町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	川南町国民健康保険条例の一部改正について	工事請負契約締結について(文化ホール図書館空調改修工事)												
財産の取得について(消防団用積載車購入)	令和2年度一般会計補正予算(第4号)	令和2年度川南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)												
令和2年度川南町下水道事業特別会計補正予算(第1号)														

農業委員会委員の同意

- 西地区 井尻 恵雄氏
- 中央地区 河野 博子氏
- 西地区 新垣 吉男氏
- 中央地区 杉尾 英敏氏
- 東地区 長友 順子氏
- 多賀地区 橋口 裕二氏
- 通山地区 森 信幸氏
- 山本地区 山下 栄氏
- 多賀地区 湯地二三夫氏

「川南町電子地域通貨」とマイナポイント

スマホアプリでマイナポイント

- ①マイナポイント…キャッシュレス決済を利用した消費者に対して国から付与されるポイント。
 - ②申請方法…マイナンバーカードとマイキーIDが必要となる。
 - ③還元率…チャージ又は決済によって25%、上限5,000円分のマイナポイントが支給。
 - ④期間…令和2年9月から令和3年3月末まで。
 - ⑤利用するには、決済業者を1社選択(令和2年7月1日から令和3年3月31日まで)する。
- この決済業者に令和2年度より開始した「川南町電子地域通貨」を決済業者に選択してもらうことで、町内の加盟店でしか利用できないことから、町外に流出しないとなる。地域還流の意味合いからこの「川南町電子地域通貨」を選択してもらえるよう町民にアピールしていく。

一般質問

記事については質問者本人から提出された原文を基に作成しております。



新型コロナウイルス感染症事業は

中津 克司

【問1】基幹産業である農業の現状が適格に状況判断出来るよう、どのように現場の声を調査、把握したのか。どう対策するのか。

【答1：産業推進課長】JAより報告を受けた、枝肉価格下落を支援して欲しいとの要望で、肥育素牛導入を補助する。町独自の調査、アンケートはやっていない。

【問2】首長のリーダーシップは「平時」ではなく、今回の新型コロナウイルス感染症拡大のような、危機が迫る時にこそ真価が問われる。具体的には、的確な状況判断、大胆かつ迅速な意思決定、その決定の根拠と経緯について説得力ある情報発信する能力、さらには、自らが下した決定について責任を取る覚悟が有るか。今まさに、町民は近隣自治体の首長と見比べて資質を品定めしていると思うが、如何お考えか。

【答2：町長】365日、常に責任取る体制でやっている。危機の初動体制どうするか、何をすべきか常に考えている。



【問3】的確な情報把握が不可欠、具体的な情報収集方策は

【答3：町長】メディア、ネット検索、自ら聞く現場の声、職員の声を聞く。

【問4】情報発信の方法は。それは伝わっているのか。

【答4：まちづくり課長】防災無線、ホームページ、

ジ、広報紙、川南メール、各種団体会議、行き届いていると思う。

【問5】プレミアム商品券を購入する余裕のない、今を頑張っておられる人に、家族が笑顔になれる様な、たとえば、飲食店応援食事券などの配布を考えたかどうか。

【答5：産業推進課長】全体で協議し、検討する。

かわみなみ「ぷらっつ」の現状は

【問6】新型コロナウイルスの影響が大きい、経営状況はどうか。事業は結果がすべて、このままでは採算が取れないと思うが。

【答6：副町長】トータルでは今赤字だが、何とかなくなって、今後、黒字で推移する。(事業直接費のみで減価償却費含まず)

【問7】施設全体に7億円強をつぎ込んだ我町自慢の施設、失敗は許されない。長い目で見る事が大切で、理想を求めながら現実を直視し、緊張感を持って施設を育てていく事が重要。基本は、お客様満足度をどう高めるか。職員、商材のレベルアップを図りつつ、集客率を上げるための積極的な広報、宣伝活動が必要では。

【答7：産業推進課長】向上に務める。実施していく。

【問8】ハエが多いとの苦情があるが対策は。

【答8：産業推進課長】半径1キロ範囲内に、畜舎17農場があり防除依頼し効果があった。今後も対策をお願いする。エアカーテンの実証試験し、効果があれば設置も考える。



「食料・農業・農村基本計画」と 町の農業施策は

養原 敏朗

【問1】国は少子高齢化を見据え農業指針となる「食料・農業・農村基本計画」を閣議決定。農業の最上位計画で、多様な人材の確保と経営体の規模や地域条件に拘わらず生産基盤の整備が必要と謳い、大規模偏重反省も見られる。大規模や中小もバランスよく支援が必要では。

【答1：町長】農業は食料生産と国土保全の両面あり、農村は農業の持続的発展の基盤だ。人口減少・地域衰退が見え始め、大規模化中心から小規模にも目を向け、地域を一体感を持った中で取り組む。

農業プラスXと地域農業水利確保

【問2】農業プラスX(何か)で生活する人もいるがどう捉えているか。営農に水は不可欠だが地域の水利は高齢化で維持が困難になりつつあり、行政として対策は。

【答2：町長・農地課長】農業専業は大規模中心になるが、兼業も含めて芸術もできるし農業しながらネット販売や組合せは無数。地元管理水利は多面的機能支払交付金事業を活用して管理されている。今後は行政主導で多面的組織を広域組織へと図る。

農家収入の安定化とGAP・HACCP認証制度の取得状況は

【問3】農村の維持に農家所得と働く場が必要とある。畜産はマルキン制度が定着。園芸での収入保険へ加入状況は。グローバル化により海外農水産物との競争が必至。品質・安全性の保障に繋がるGAP・HACCPの広がり状況は。

【答3：町長・産業推進課長】園芸にも収入保険制度が出来たが、加入者は50件。推進協議会を立上げ推進する。認定取得で食材活用が広がる。

GAP取得は補助金を交付し推進。取得状況はGAPでお茶6件・畜産1件、HACCPで畜産1件だ。

新型コロナウイルスの影響と今後の対応

【問4】町内影響は。組織・団体情報だけでなく自らの目・耳での確認が必要では。持続化給付金申請は複雑厄介だと聞く、町も申請支援を。飲食店への支援範囲は。

【答4：町長・教育長・産業推進課長・まちづくり課長】飲食業中心に影響が出ている。地方自治体は住民と接する最前線で、生の声を聴くのが我々の仕事だ。持続化給付金申請は前向きに検討する。飲食店支援は最初は町に住民登録者を対象、第2弾は町外からの事業者も対象とした。学校は臨時休校により学習の遅れや行事に影響が出た。分散登校を行い、また夏季休業中に6日登校して、感染対策を講じながら授業時数を確保し対応する。これからのイベントは未確認発生地域なので、新しい生活様式に則り通常通りとする。

運動公園管理

【問5】芝生部分は養生の為3月から6月の4か月間使用不能だが、管理方法を改善し、養生期間短縮は出来ないか。また使用許可の8時30分からは住民の利用実態に合わせ早い時間の許可を考慮すべきでは。

【答5：教育長】2月に芝がはげ凸凹となり芝の養生と利用者の安全の為使用を見合わせている。利用時間は必要に応じて考慮する。



コロナ対策をどう考えるか

川上 昇

【問1】本感染症対策についてどのようにお考えか。情報収集は最も重要な業務。町としてどのような視点で行っているか。終息後どのような観点を持って支援策を講じていくのか。夏休みも含めて、小中学校の今後の運営をどのように計画しているか。また、子どもたちや保護者の反応はどうか。

【答1：町長】危機管理は危機のときにどう動くか、初動体制をどうとるかが被害を抑える一番の要因だ。

【答1：まちづくり課長】町としての視点だが、一番困っているのは町民と事業所。乗り切れることを念頭に国や県、関係団体の情報をもとに、町や住民にとって効果的で適正な支援策を見極めながら対応して行く。

【答1：総務課長】終息後の社会経済回復のための予算措置等は、基本的には補助金、交付金を核に構成したいと考えているが、財政調整基金等も活用しながら色んな施策に充てたいと考えている。

【答1：教育長】保護者からの要望等は聞いていない。夏休み期間中は子どもたちの学習定着も踏まえ、7月の後半3日間と8月の後半3日間を授業日にする。

個人番号カード

【問2】町の第5次長期総合計画で、個人番号カード利用環境整備事業があるが、どのようなコンセプトをお持ちか。この川南町でこの度の特別定額給付金のオンライン申請が何件あったか。実施計画書の予算を伴ったカード利用環境整備事業とはどのようなものか。また、具体的取り組みとは。このカードの交付率の向上をどのように考えているのか。

【答2：町長】不具合があれば都度見直しして、

改善していくのが我々の仕事だと認識をしている。

【答2：まちづくり課長】今回の申請件数は126件。整備事業については、この事業が進むことを期待してわかりやすい漫画を配布する。

【答2：町民健康課長】このカードには本当に便利な機能があり、例えばキャッシュカードと同じレベルで持ちたいと思えるような策を考えていきたい。

高齢者運転サポート事業

【問3】実施計画書で予算とともに計画されている事業の具体的な取組は。

事業には事故防止につながる安全装置付車両の購入、また踏み間違い加速抑制装置の設置等、後づけの装置を行った高齢者に対し、経費の一部助成を行うということの予算計上や計画の根拠は。この高齢者運転サポート事業の件、こういった手法でPRをしていくのか。

【答3：町長】高齢者による死亡事故を減少させることが大きな目的であり、車につける安全装置等、車に対する支援、後づけした場合の支援という形で考えている。

【答3：まちづくり課長】事例から65歳以上の高齢者の事故率が高いことからサポカーの導入が始まった。この導入により追突事故が、年齢を問わず6割ほど減少しているというふうに聞いている。

周知方法だが、ホームページ、「お知らせかわみなみ」、町の広報紙にも掲載する。また長寿会や各地区にも出向いて説明していきたい。



自動車運転席 足元部分のイメージ



ふるさと納税の返礼率の変更は

河野 禎 明

【問1】ふるさと納税の返礼品が寄付額の30%以内と昨年からなつたと、新型コロナの影響で和牛、海産物が売れなくて困っている。

特に、和牛肥育農家は大変な赤字が発生している。救済方法として、ふるさと納税の返礼率を期間限定で農作物、海産物に限り50%に上げるように国に要望する事ができないか。

【答1：町長】返礼率の変更を要求するには非常に厳しい現状がある。

ぶらっつ周辺の環境対策

【問2】地域活性化拠点（ぶらっつ）周辺にハエが多量発生しており、イメージダウンが懸念されるが、何か対策を考えているか。

【答2：町長】ぶらっつは川南町にとって大事な施設なので、お客様に喜んでいただけるような色々な事を考えている。

【答2：産業推進課長】ハエ発生の原因は畜産農家にもあるというふうに認識しているので、6月11日に周囲の畜産農場に集まってもらい、ハエ駆除の徹底を要請した。現場の声、職員の声を聞く。

【問3】川南は畜産の町だから臭い。ハエの発生はしょうがないと思っているのではないか。

【答3：町長】臭い対策は川南町にとって重要な事だと思っている。

【問4】ぶらっつ周辺は農振地域だが、育成芝を植えたり、ひまわりを植えて肥料にするなど景観を良くする事はできないか。

【答4：町長】観光農園、果樹園の構想を考えている。

【問5】現在ぶらっつのレストランの営業時間が夕方5時で閉店だが営業時間を延長することはできないか。

【答5：産業推進課長】レストランの営業時間が将来的にどうなるか、はっきりしていない。スタッフの関係、お客様の増加等々により延長になる可能性もあると考えている。

【問6】ぶらっつの出荷者の協議会設置を早急にできないか。

【答6：副町長】理事会で検討している。



ぶらっつ周辺農地

町内で新型コロナウイルスが発生したら

【問7】川南町内で新型コロナウイルスが発生した場合、速やかにPCR検査などが受けられるような体制が必要となるが現状はどうか。

【答7：町民健康課長】PCR検査を受けることになる場合は、一般的に感染を疑う症状があり、かかりつけ医院や帰国者・接触者相談センターなどから検査が必要と判断された場合か濃厚接触者と認定され、検査が必要と判断された場合になる。

いずれの場合も検体を採取できる医療機関等を紹介され、採取された検体は宮崎県衛生環境研究所で検査されることになるので、現状では、検査が受けられないことはない。

なお、西都児湯圏域では、検体を採取できなかった（PCR検査を受けられなかった）という方はいない。

お詫びと訂正

令和2年6月1日発行の議会だよりの河野禎明議員の一般質問中、

- ①(誤) アライグマ →(正) アナグマ
 - ②猿1頭捕獲補助金については、従前から宮崎県鳥獣被害防止総合対策交付金として8,000円が支給されている。
- 以上、訂正いたします。



どうなる 新型コロナウイルス対策は

内藤 逸 子

【問1】私たちは何よりも感染拡大を防止して、国民、住民の命を守ること、同時に経済社会活動の制限を生じた暮らしと経営の打開と苦難を救済し守るために全力を尽くさなければならない。不便を強いられた町民にも少しずつ日常が戻りつつある。

行政として住民や中小業者の切実な実情をリアルに掴みながら、スピーディーに実施できる条件もある。新型コロナによる地域経済と生活への影響と被害の現状と対策について、町長はどのように受け止めているか。

【答1：町長】コロナについては、何度も質問されているとおり、それだけ大きな問題であり、身近な問題であると受け止めている。

今回、提案している補正を含めて、4回、一番最初に本当に困っている人、これからいつ終息するのか、ここで断言できない。今後も必要なときには、その都度提案をして、これからもやっていくという考えだ。

大事なことは、感染者を出さない。もし出た場合は最小限に抑えることは当然であるが、本町においては一人も出ていない現状なので、コロナと共存というのは出るかもしれないというリスクはしっかりと思いながら、経済復興を一步一步、歩める施策に取り組んでいきたい。

国の特別定額給付金について

【問2】国は特別定額給付金、国民一人10万円マスク一世代2枚を配布した。10万円の給付金は、5月中に給付金が各世帯に振り込まれたようだが、同封された説明文書の文字が小さくて読むのに苦労した高齢者が多いので配慮してほしい。提出書類をコピーするのに苦労した。

役場から町民と確認して申請書が送られてくる

のに証明書はなぜ必要なのか。問合せがどのくらいあったか。

【答2：まちづくり課長】特別定額給付金は、6月8日現在で受付件数の割合が97.08%、支払件数は94.68%、支払額は95.82%となっている。

説明関係のことでの質問だが、基本的に国が今回の申請についてはオンラインによる申請、また郵送での手続ということと、本人確認する書類を求めることで指導がされている。

問合せは、トータルで315件。

【問3】まだ給付金を受け取っていない方への対応について、細やかな対応が必要ではないか。どのような手順で臨むか。

【答3：まちづくり課長】残っているのが206件の349人。今後の対応は、既に5月末で来られていない方に対して、一人も給付金を知らなかったといったことがないように対応をしていく。



【問4】医療体制の問題は、専門家は感染の第2波、第3波が来るのではと心配している。

【答4：町民健康課長】PCR検査体制と医療体制の抜本的な強化と改善は、県はまず対策本部会議の中で段階的に医療提供体制を整えている。



戦略的な公衆無線LAN (Wi-Fi) の整備を

中村 昭人

【問1】情報通信技術の進歩は私たちの生活様式を大きく変え、観光や教育、防災といった分野でもなくてはならないインフラだ。公衆無線LANの整備状況は。

【答1：町長】図書館ホール及び前の広場、運動公園内の広場、サーフィンセンター及び伊倉浜駐車場にMIYAZAKI FREE Wi-Fiが整備してある。

【問2】観光や経済の活性化として商店街に整備する考えはないか。

【答2：産業推進課長】昨年度より公衆無線LAN事業所と整備について協議を行っているがコロナの影響で協議は止まっている。今後とも協議を進める必要があると考えている。

【問3】教育分野では、国が全国の児童生徒1人1台のパソコンを整備することを目指したGIGAスクール構想を打ち出している。本町でも今議会で端末と無線LANの整備費用を計上しているが、将来のICT教育環境をどのようにしたいと考えているのか。

【答3：教育長】子供たちが変化を前向きに受け止め、予測不可能な未来社会を自立的に生きていくための情報活用能力を育成し、デジタルならではの学びの充実、日常的にICTを活用できる体制づくりを目指したい。

【問4】災害時の対策として避難所への整備については。

【答4：まちづくり課長】国に活用できる事業があるようだ。前向きに考えていきたい。核となる避難所として農村センターと各別館を考える。

【問5】学校施設も避難所に指定されている。校内無線LANの整備は国の予算で取り組むが、災害時にネットワークを利用できないか。

【答5：教育課長】校内LANにアクセスできないように通常時と災害時の切り替えや情報管理を行

うサーバー等を設置すれば、災害時のネットワーク利用は可能だと考える。

コロナ禍における避難所での感染対策で事業所と連携を

【問6】間仕切りやベッドの必要性がいわれている。町には段ボール加工場もあるが連携できないか。

【答6：まちづくり課長】有事の際には優先的に納めてもらえるよう災害時の協定ついて協議を行っている。将来的にベッド等も必要であれば協定の中身に入れていきたい。

地域の宝として天龍梅の文化財指定を

【問7】県下三梅と言われる天龍梅。町の文化財指定への考えは。

【答7：教育長】以前から要望は出ており、これまでも指定に向けて管理状態等を検討してきた。歴史的にも、生育的にも文化財の指定をしてもよい状態にあるとの認識だ。文化財保護審議委員会を開いて指定に向けて動きたいと考えている。



中央公園内の天龍梅



新型コロナウイルス感染症対策について

児玉 助壽

【問1】政府は、この新型コロナウイルス感染症という未知のウイルスの感染拡大に緊急事態宣言を発出し、外出自粛や休業等要請を行った。結果、感染者減少に転じ、地域実情を鑑み、我が県は5月11日に緊急事態宣言が解除され、経済活動を再開した。しかしながら、感染者やコロナウイルスがゼロになっていないので、気の緩みから第2波、第3波の発生が危惧されている。

町はこうした将来の予測、そして現実にかけている事を踏まえ課題に向き合う必要があると思うが、幸いにも本町を含め、近隣の西都児湯1市5町1村では感染確認されていないが、感染力からして対岸の火事ではない。感染予防及び感染発生時の備えは。

【答1：町長】感染者を出さないというのが一番大事と思っている。

万が一発生した場合は、感染者を最小限に抑えるために、いろんな手段を取っていききたいと考えている。

【問2】この感染者は、陽性確認が遅れるほどに治療期間が長くなり致死率も高くなり、初期治療が早いほど回復が早いとの結果がでていますが、早期に陽性確認するためのPCR検査の拡充強化が必要だ。町の対応は。

【答2：町長】これまで県の衛生研究所と宮崎保健所であったが、県のほうも5月26日の対策本部会議で医師会などの協力を得、より充実した体制を整えていくということで決定しており、本町としては、大都市圏のような医療崩壊、そういうのは考えにくい現状であるが、県の動向を踏まえ、注視、協力していきたいと考えている。

【問3】感染防止のために町立小中学校が3月初旬から約45日ほど臨時休校になっており、学習の遅れによる学力低下が危惧される。特に新入生においては、初・中等教育の基礎を学ぶ貴重な時期を棒に振っているが、学習の遅れを取り戻す対策も必要では。

【答3：町長】子供は川南町の将来の大事な宝であるので、その学習の場をしっかりと取るということは我々の使命である。

【答3：教育長】心配された新入生については、家庭との連携を図りながら、個別指導に力をいれているとの学校から報告を受けている。その上で、今後は授業時数や学習の定着を図るため、時間割編成や行事の精選、夏期休業中6日間の授業日の設定措置を取り学習の遅れを取り戻すよう努めていく。



お詫びと訂正

令和2年2月1日発行の議会だよりの米田正直議員の一般質問中、町の防災についての質問の中で、川南町に集中豪雨が発生し、平田川が氾濫した期日を平成28年6月4日と記述しましたが、正しくは平成26年6月4日であります。訂正してお詫びを申し上げます。

【第3回議会報告会を開催】

意見交換会の意見・提言まとめ

令和2年2月12日、川南町農村環境改善センターで第3回議会報告会が行われ、前半は議会からの報告、後半は6つのグループに分かれて意見交換会が行われた。今号ではそれぞれのグループで提言された話題(テーマ)を内容別に区分けし紹介する。

※グループ毎の写真は任意で掲載しており、掲載場所のテーマとグループの協議内容が必ずしも一致するものではない。

人口問題

- ・人口減少、最低15,000人は維持したい。
- ・川南町の人口減少、高齢化対策等、どうにかならないか。行政の対応は見えるものが感じられない。色々な問題を繋いだ政策は。



子育て支援

- ・都農町は子育て(医療費、給食費、保育料等)を無償化している。

地域、環境問題

- ・川南町は臭いが激しい。どうにかならないか、人は来ない。
- ・住民に迷惑かけている事、知って欲しい。
- ・処理するところを整備したら。
- ・大阪の老人が川南に住もうと思っているが、老後の楽しみTVのチャンネル少ない。光回線も限られているので考えている。
- ・補助金の充実を図って、Uターン拡充。
- ・別館の外のトイレはどこか管理か。
- ・分館制から自治公民館制になって、人のつながり絆が薄くなった。
- ・地域活性化拠点施設の運営は。
- ・スマートインター、早期設置を。
- ・高齢者が多くなると民生委員での対策は限られてくるのもっと公に地域として支えていくように。例えば、個人情報隣接者が共有するような社会は作れないものか。最終的には、災害に強くまた無駄の

- ない政策として活かされるのでは。
- ・地域活動においては、高齢者学級や地域ふれあいが行われているが、コミュニティースクールといった取り組みが必要で、地域、高齢者と学校の連携(協働)が重要視される。
- ・川南町の軽トラ市は多くの駐車場が確保されているからか、定着していて素晴らしい。
- ・南海トラフ地震に対する備えも必要で、その際の自助、共助、公助の精神が重要である。
- ・100歳時代が到来しようとしている今日、それに向けた各種施策が重要になって来るのではないか。
- ・個人世帯でルールを守らずゴミを出す人がいて振興班長が困っている。
- ・若い夫婦で補助金(振興班加入が条件)を活用して家を建てたが、振興班の活動には一切関与しようとしていない人がいる。
- ・自治公民館ごとに女性部活動に差があるが、他の地区ももっと活発にならないか。

町役場への提言

- ・ピアノの費用対効果、説明不足では。
- ・町長も参加してはどうか、相互理解のため。
- ・生涯学習大会の参加者が少ない。町職員、民生委員等も協力。
- ・ドーム空調寒い。
- ・学習大会、季節を考えるべき。イベント内容、企画。

- ・都農町はウォーキング等の企画が多い。比較すると川南は少ないのではないか。
- ・「クラシックコンサート日向」は、誘ってくれるリードオフマンがいる。
- ・イベントの企画と集客をどうしたら良いか考えるべき。
- ・町長の熱意が感じられない。

- ・町民に対して所信表明を出すこと。
- ・職員の質の向上
- ・できない理由を言う。(町)
- ・臨時議会が多い。
- ・逆算した計画。線引きがない。
- ・クレーマー 町民の声→大事にしないといけない。
- ・図書館→新聞をすぐかたづけられた 破ったらいけない。
- ・ものを言う会を作らないといけない。
- ・臨時議会のPRをせよ。
- ・町水道が白蟻には来ていない。
- ・総合福祉センターの運営について。
- ・人口問題、学校再編、総合的に熟慮なし。
- ・PAの整備は口蹄疫の復興が目的でもあったはず。
- ・スマートインターを作るようにもっと働きかけて欲しい。川南は片側なので20億円もかからない。
- ・家庭ゴミ出して新聞に包んであったのを持って行か

- なかったとき、生ごみをカラスが散らかして大変だった。町は振興班長の責任でやりなさいと言うが、それでいいの。
- ・自治公民館活動について、役場の職員からは「一緒にやりましょう」という姿勢が見えない。私も自治公民館活動をやるという気持ちがあるが、職員もそういった気持ちを持って欲しい。
- ・シルバー人材センターの仕事で伊倉浜を管理している。不法投棄のゴミや大木が散乱している。役場は管轄ではないというが、それでいいの。婦協とかサーファーなどボランティアで清掃などを行っている。集めた流木もそのままになっている。県外から来られた方(1年になる)毎朝1時間ゴミ拾いをしていて。もっと主体的に動いてほしい。
- ・イベント(運営)などに役場の職員の協力が都農町と比べて少ない。愛着が感じられない。

議会への提言



- ・広報の議案は全てか。
- ・否決案件があるのは監視されているという理解で良いか。
- ・成人者アンケートの結果はどうだったか。
- ・議員の予算否決理由について。
- ・各団体も来て欲しい。
- ・子どもを巻き込んだ報告会も良い。ポスターでなく近くの人が誘う。
- ・報告会の資料の内容が古かった。
- ・成人式のアンケートは毎年実施されて大変良いが、今後追跡調査をして欲しい。例えば、川南町に住みたいと希望したのが、5年後、10年後ではどこに住居されているのか。

学校関係

- ・学校規模適正化審議会なぜ否決。
- ・給食を一緒に食べたい。
- ・小学生と一緒に勉強したい。厚労省と文科省が一緒になったら。統合ありきでなく、老人が学校に行く。
- ・令和8年、中学校を一校にする～、聞いてない。
- ・小学校の統廃合の話は出てないのか。
- ・都農高校が廃止されるが、その後は宮崎大学のある

- 学部が利用することになっている。高校は無くなったとしても地域から学生の声は途絶えない。
- ・他町村のことではあるが、小中学校の統廃合も話があるが、一方では隣接町に合併してはとの話しを耳にしたこともある。
- ・中学校の統廃合の問題、生徒数減で部活動もできない状態になりつつある。統廃合することにより教育の質の向上が図られるのではないか。





意見箱より

令和2年5月 住民の方からのご意見

ご意見

小池のレイズモーター前の交差点は非常に危険です。以前近くで死亡事故も発生しています。また子供たちの通学路になっているほか、プラッツの出入口になっており、これから交通量が増え、ますますリスクが高くなっていくでしょう。なぜ信号機を設置しないのか不思議でたまりません。議員は町内の危険個所を把握しているのでしょうか？ぜひ信号機を設置してください。



T字路が近距離で重なる小池地区の交差点

回答

このご意見を安全対策担当の建設課に申し入れ、高鍋警察署交通課交通規制担当者と同行のうえ現地に赴きました。その結果次の回答を頂きました。

交差点の構成から現時点での信号機設置は困難である。

理由として

- ① T字路が続いて2か所ある事。
- ② 仮に信号機設置を行うと渋滞が発生し現在より通行が不便になること。
- ③ 信号機の設置場所の確保が困難という結論に至りました。今後交通量が予想以上に多くなり信号機が無ければ危険度が増す場合は交差点の改良が必須であるとのご意見も頂きました。

議員は危険個所の把握をしているか？のご質問は、議会として特別に危険個所の調査を行うことはしません。個々の議員がその活動の中で住民の皆様にお聞きしています。また、定期的に町担当課が危険個所の見回りを行っておりますので、議会としても情報を共有していく方向です。

川南の人口と推移

毎月1日現在の現住人口

	人口	転入	転出	自然増減		世帯数
				出生	死亡	
令和2年5月	15,258	70	60	5	16	6,268世帯
令和2年6月	15,244	23	23	1	15	6,266世帯
令和2年7月	15,218	17	33	7	17	6,277世帯

編集後記

新型コロナウイルスの影響により、各種イベントの中止や県外等への外出自粛や営業自粛で、わが町も例外にもれず活気をなくしている状況です。一刻も早い終息を願い、以前のような生活リズムを取り戻したいものです。庭に咲く紫陽花は光沢を帯び、心を慰めてくれています。(米田正直)

【委員長】徳弘美津子 【副委員長】谷村裕二
 【委員】川上昇 内藤逸子 福岡仲次 米田正直

編集・発行

宮崎県川南町議会

〒889-1301
 宮崎県児湯郡川南町大字川南13680-1
 TEL (0983) 27-8017

発行者/川南町議会議長
 編集者/議会広報編集特別委員会
 印刷所/ヤマキ印刷